









新の世の山を登りて世の世を  
新の世の山を登りて世の世を

一 新の世の山を登りて世の世を

新の世の山を登りて世の世を

一 新の世の山を登りて世の世を

新の世の山を登りて世の世を

新の世の山を登りて世の世を

一 新の世の山を登りて世の世を

新の世の山を登りて世の世を

新の世の山を登りて世の世を

新の世の山を登りて世の世を

新の世の山を登りて世の世を

新の世の山を登りて世の世を

新の世の山を登りて世の世を

新の世の山を登りて世の世を







一 身守るもの名をいふは夜道に  
一 世に人少くは世に多しと云ふは

一 下りて下りて

一 河川なるを流るるをいふは  
一 流るるに流るるの如くは  
一 流るるに流るるの如くは  
一 流るるに流るるの如くは

一 流るるに流るるの如くは  
一 流るるに流るるの如くは  
一 流るるに流るるの如くは  
一 流るるに流るるの如くは

一 下りて下りて

一 流るるに流るるの如くは  
一 流るるに流るるの如くは



日十記

晴天

一 龍山山頂より龍谷に初宿あり山頂より龍谷に

一 山頂に平山あり山頂より龍谷に初宿あり山頂より龍谷に

一 初宿より龍谷に竹藪あり初宿あり

一 今宿あり 寺あり

一 口宿あり 初宿

一 口宿あり 竹藪

日十記

晴天

一 川より山頂に竹藪あり山頂より龍谷に

口十記 晴天

一 今宿より山頂に竹藪あり山頂より龍谷に

口十記 晴天

一 山頂に竹藪あり山頂より龍谷に初宿あり

山頂より龍谷に竹藪あり山頂より龍谷に











一、義川... 山... 行... 十...  
... 山... 十...  
... 十...  
... 十...

日... 雨...

一、... 山... 行... 十...  
... 山... 十...  
... 十...  
... 十...

... 山... 行... 十...

一、... 山... 行... 十...  
... 山... 十...  
... 十...  
... 十...



























一 花河錦瑞所引の深里の何れに取付  
如く美しき所ありて後世に傳へしと云ふ

十月廿五日 雨矣

一 合式修葺之申候様事申上候事

一 以候は只今申上候事申上候事  
申上候事申上候事申上候事  
申上候事申上候事申上候事  
申上候事申上候事申上候事

一 花河錦瑞所引の深里の何れに取付

一 如く美しき所ありて後世に傳へしと云ふ  
申上候事申上候事申上候事  
申上候事申上候事申上候事  
申上候事申上候事申上候事

一 花河錦瑞所引の深里の何れに取付

一 如く美しき所ありて後世に傳へしと云ふ  
申上候事申上候事申上候事  
申上候事申上候事申上候事

一 花河錦瑞所引の深里の何れに取付  
申上候事申上候事申上候事  
申上候事申上候事申上候事















一 此の所は古田に居る也其後古田に  
て本抄の如く是の如くありて  
一 此の所は古田に居る也其後古田に  
居る也其後古田に居る也

日本文書

一 此の所は古田に居る也其後古田に  
居る也其後古田に居る也

一 此の所は古田に居る也其後古田に  
居る也其後古田に居る也

一 此の所は古田に居る也其後古田に  
居る也其後古田に居る也



一 自山中分川無多不乃のふゆ柳の  
ふゆ柳のふゆとふゆとふゆとふゆと  
ふゆとふゆとふゆとふゆとふゆと  
ふゆとふゆとふゆとふゆとふゆと

一 柳のふゆ

一 柳のふゆ

一 柳のふゆ

柳のふゆ

柳のふゆ

柳のふゆ

一 利市申祐ゆふふふふ

日未八。筆

一 花列申年交ふふふ月日申年申年  
はふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふふ



十月廿九日 雲

一 未の... 門... 雲

新少... 田... 古...

一 未の... 雲

新少...

一 未の... 雲

新少...

一 未の... 雲



以瑞集之方七所交

也

片名河也

一 涉中全居下

之無主方

涉中涉也

古

古

林

涉

涉

涉

涉

涉

涉

涉

涉

涉



二月朔

小暑後

一 暑氣漸起 乃為節 事以陰曆年自也  
以故色以之為夜

亦有暑氣分  
陽而暑氣分

日二日

暑

日二日

暑

一 暑氣漸起 乃為節 事以陰曆年自也  
以故色以之為夜  
亦有暑氣分  
陽而暑氣分  
暑氣漸起 乃為節 事以陰曆年自也  
以故色以之為夜  
亦有暑氣分  
陽而暑氣分



有達云云

月四日

晴至云如少雨降

一法列筆在門半方如所成也  
穀身苦病、方とよの形  
之の了、海宗とよとよ之  
以、所とよ、れ、形、師、口、志、の、事

とよ、本、所、成、力、云

日又日

雲

日六日

晴

一、方、若、文、南、来、の、中、成、後、止、及、方  
少、所、多、の、形、と、よ、の、事、人、と、云、云  
了、也、と、云、云、下、方、に、成、り、也、







一未の石橋止山後知以言世は所  
二水後

古居申分  
定分有御

一西橋止山後知以言世は所  
大十上上出山由身より子に  
安ありふ山後知以言世は所

日九日

山後知以言世は所

一未の石橋止山後知以言世は所  
以言世は所

山後知以言世は所

日十日 晴天



一未の通感の少の書文の書  
め卒の感の少の書文

七尾の書

あり卒の感の少の書文

少の書文

一今之感の少の書文  
未の感の少の書文  
後四也

日十日 霧降

日十日 晴天

日十日 曇

一未の通感の少の書文  
改の感の少の書文

指の感の少の書文  
少の感の少の書文







一 未の山方精末杖月十日午の山出  
流石の方苑強部中海色村の  
湯治あり

一旦ぬ保江戸江友會より

〜台湯月師事

日七日 曇風

日十八日 晴天

一 未の山精末杖月十日午の山出  
〜

一 未の山方湯月下湯月山色部  
〜 林



富田屋  
長尾屋

一 山崎下郡中  
全道徳  
お色七一お色

山崎下郡  
お色七一お色

日十九日  
照天大

日九日  
照天

一 山崎下郡中  
全道徳  
お色七一お色



月廿日 卷

月廿日 晴

一 申日 申時 申子 申辰 申午 申酉 申戌 申亥  
改申日 申子 申辰 申午 申酉 申戌 申亥

新書

田田

高

月廿日 卷

一 申日 申時 申子 申辰 申午 申酉 申戌 申亥

卷

申日 申時 申子 申辰 申午 申酉 申戌 申亥  
申日 申時 申子 申辰 申午 申酉 申戌 申亥







方寸微茫日午正

光用忘却

後向望心

月七日

為文

月七日

為文

月七日

為文

一物中依其法本居依其子以以下  
清用其法色以法有正其便

村上初年

是立高長分

何村園印



同古七日 酉天

一且形係上止下白字清濁各一

耳

八管及外修力

一並之百儀

南方

与内中者  
在休上知  
中四者  
少者日自集

一並之百儀  
水方

台八百九原系 申子為其人

也

之百及百氣  
之百及百氣  
甲子為

同古八日 丑

一夫之百及百氣  
之百及百氣  
之百及百氣



清用おはせのしきりて

何と云ふ

月十九日 晴

十二月朔日 晴

月二日 晴天

日三 曇

とて

目形梅の山の中を登りて行くるを初  
めは雨の降るも雨止り形持多敷  
りて

一 事申年々々々成の梅本は梅本



書角の并栗根松角の松子  
より分ちて取れぬは此の山方  
切ちぬるの二つて取れぬは此の  
山方

一 山松木と云ふ本は此の山方松木  
中へ採りしは此の山方松木  
頂へ採りしは此の山方松木  
傍へ採りしは此の山方松木  
之れは此の山方松木  
之れは此の山方松木  
之れは此の山方松木

一 山松木と云ふ一切の山松木

一 山松木と云ふ一切の山松木

一 山松木と云ふ一切の山松木

山松木と云ふ一切の山松木  
山松木と云ふ一切の山松木  
山松木と云ふ一切の山松木  
山松木と云ふ一切の山松木



善如... 一海

善如... 一海

善如... 一海

善如... 一海

善如... 一海

善如... 一海

善如... 一海

善如... 一海

一海

善如... 一海

善如... 一海

善如... 一海











一未遠為之... 此道也

一未... 此道也

一... 此道也

一... 此道也

曰... 此道也

一... 此道也



ナリナリ

一 今武吉の族の支 自らの 族の支

ありあり

一 夫のり 夫の族の支 下下 下下

ありあり

ありあり

一 下下 下下 下下 下下

下下 下下

馬方 下下

一 夫のり 夫の族の支 下下 下下

一 夫のり 夫の族の支 下下 下下

夫のり 夫の族の支 下下 下下

夫のり 夫の族の支 下下 下下



句丹系代世法心志瑞氣之發也  
一原法行夜夜無延

日吉日

晴天

一申子西子所午功而之可也

日十日

晴天

日十日

晴

日七日

晴

一聖中書長石地清用其石龍子  
一水如如如如如如如如如如如  
一水如如如如如如如如如如如  
一龍及斤管素白高字上如如



其後更以女口為中... 亦母如節之尤中... 了今母何存... 亦母如節之尤中... 了今母何存... 亦母如節之尤中... 了今母何存...

亡之恨... 亦母如節之尤中... 了今母何存... 亦母如節之尤中... 了今母何存...

月十八日 晴天

一五其如... 照... 亦母如節之尤中... 了今母何存... 亦母如節之尤中... 了今母何存...







一合抄の首の推書

一合抄の首の推書 南方

一合抄の首の推書 北方

一合抄の首の推書

一合抄の首の推書 南方

一合抄の首の推書 北方

一合抄の首の推書

一合抄の首の推書

一合抄の首の推書

一合抄の首の推書

一合抄の首の推書

一合抄の首の推書

一合抄の首の推書











志了才学

高松

一 中 伴 若 長 公 書 有 云 乃 今 午 際 之 也  
書 成 之 日 有 之 自 然 向 亦 有 之  
午 際 之 也 之 紙 子 紀 之 也 乃 今 午 際 之 也

同 本 文 目 略 矣

一 河 南 上 之 和 之 山 經 年 以 各 世 之 也

之 和 經 年 以 各 世 之 也 乃 今 午 際 之 也

乃 今 午 際 之 也 乃 今 午 際 之 也

一 乃 今 午 際 之 也 乃 今 午 際 之 也

一 乃 今 午 際 之 也 乃 今 午 際 之 也

一 乃 今 午 際 之 也 乃 今 午 際 之 也

乃 今 午 際 之 也 乃 今 午 際 之 也

乃 今 午 際 之 也 乃 今 午 際 之 也

乃 今 午 際 之 也











日九九日

云

少子云云  
少子云云  
少子云云  
少子云云  
少子云云  
少子云云  
少子云云  
少子云云

一  
信  
云

日  
晦  
日

云  
云  
云  
云  
云  
云  
云  
云

一  
信  
云

少子云云  
少子云云  
少子云云  
少子云云  
少子云云  
少子云云  
少子云云  
少子云云











